

No.利活用-2-6	水辺・緑地が持つ機能のPR
------------	---------------

技術の目的

緑地や水辺それぞれが持つ役割や機能をPRすることで、グリーンインフラの普及・啓発を図る。

導入する局面	創出	維持管理	利活用
適用空間	水域		陸域

技術の内容・事例

■技術内容

- ・ 生物多様性の保全や雨水浸透・貯留を目的とした緑地など、一般の方には一見分かりづらい水と緑が持つ多様な機能や効果について、その狙いや役割を分かりやすくPRすることが重要である。

■導入事例

1. 公園の歴史的背景や施設の紹介（区立坂本町公園）
 - ・ 東京ではじめての市街地小公園である坂本町公園について、公園のリニューアルを機にその歴史的背景や施設を紹介する案内板、リーフレットを作成し、PRを図っている。



リーフレット・現地案内版によるPR（坂本町公園／中央区）

2. 花壇ボランティア事業のかわら版

- ・ 花壇ボランティアの参加者向けに、植付け方法や維持管理方法の情報提供、参加者の活動状況などを紹介するかわら版を定期的に発行し、緑化への関心や活動意欲の向上を図っている。



かわら版によるPR（中央区）



花咲く街角ボランティア（中央区）

3. 生き物の生息・生育場所になる緑地のPR（フジクラ木場千年の森/江東区）^{出典1}

- 多様な生物を身近に感じる憩いの場として整備された緑地を紹介する専用のHPを開設し、観察できる生き物の図鑑やビオトープの意義、日々の活動日誌を掲載している。また、現地にてビオトープを紹介する説明会を開催している。



緑地を紹介するHPの開設^{出典2}

ビオトープ説明会の開催^{出典1}

■出典・参考資料

- 1 東京都環境局「在来種植栽の設計・管理のポイント」（平成29（2017）年3月）
https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/nature/green/green_biodiv/edo_midori.html
- 2 フジクラ木場千年の森HP <http://www.forest1000.fujikura.jp/index.html>

基本指針との関連

居心地がよく歩きたくなる 水と緑にかこまれたまち		水と緑を楽しみ 魅力とにぎわい にあふれたまち	水と緑が守り、育む 環境共生型のまち		緑が支える 防災・減災のまち
良好な 景観形成	暑熱対策	人の集う場・ 活動の場	都市の 水管理	都市の生物 多様性確保	防災・減災
—（水と緑が持つ多様な機能・効果をPRする技術であるため）					

注) ◎：各基本指針の主要な機能として期待される項目、○：各基本指針の副次的な機能として期待される項目

期待される効果

環境			防災			福祉・教育			地域振興		商業・観光振興					
ヒートアイランド減少の緩和	都市における生物多様性の確保	水質改善	災害（火災・水害など）の軽減	災害時の復旧活動・支援拠点	災害伝承・防災教育の場	健康増進・介護予防	緑の景観によるストレス軽減	子育て支援	環境教育・自然とのふれあい	コミュニティの醸成	地域の自然観・郷土愛の醸成	都市の魅力・競争力の向上	不動産価値の向上	観光・商業振興	労働生産性の向上	労働環境の改善
—（水と緑が持つ多様な機能・効果をPRする技術であるため）																